

優良住宅部品性能試験方法書

Methods of Testing Performance of Quality Housing Components

洗濯機用サイホン排出管(可変式洗濯機設置台)

Siphonic Discharge Pipe for Wash Machine/ Variable type washing machine table

BLFT SD/A:2024

2024年12月16日公表・施行

一般財団法人 **ニセーリビニガ**

I. 性能試験項目

	性能試験項目	性能試験方法	備考	頁
1.	局部荷重試験（台座）	BLFT SD/A-01		2
2.	局部荷重試験（保護カバー）	BLFT SD/A-02		3
3.	耐衝撃性試験（台座）	BLFT SD/A-03		4
4.	耐衝撃性試験（台座及び保護カバー）	BLFT SD/A-04		5
5.	吸水率試験	BLFT SD/A-05		6
6.	耐酸性試験	BLFT SD/A-06		7
7.	耐アルカリ性試験	BLFT SD/A-07		8

II. 試験体

試験体の種別、形状、個数については、性能試験方法で示すとおりとする。ただし、個数の下限は当財団の判断によるものとする。

また、試験体は認定申請時提出された設計図書の図面、仕様書の内容と同一の物であるとし、差異のある場合は、追加試験の要請もあり得る。

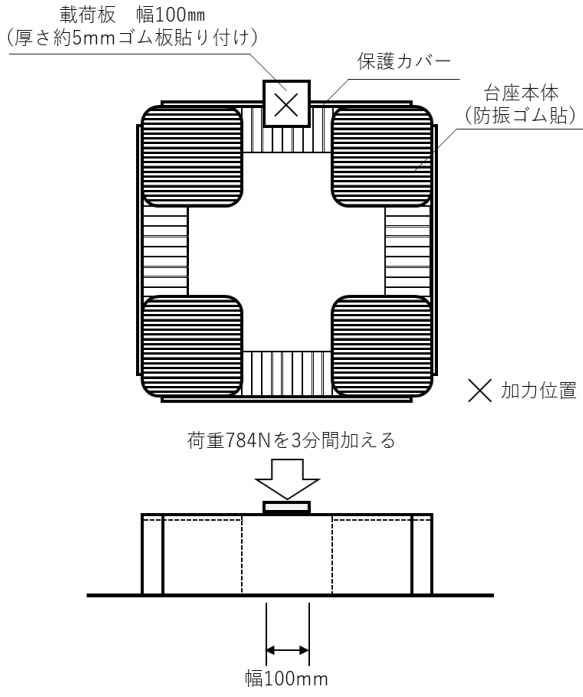
III. 試験結果の表示

定量的に表示しうるものは図表化を図ること。また、外観観察については具体的に、何が、いつ、どのような状態になったかを試験目的にそって簡潔に記述すること。なお、試験体、試験装置は詳細図を添付し、また、試験結果を示すのに有効な場合は写真を添付すること。

優良住宅部品性能試験方法書（洗濯機用サイホン排出管（可変式洗濯機設置台））

(1) 試験方法名称		局部荷重試験（台座）		試験番号	BLFT SD/A-01
(2) 関連要求項目 および性能		1. 2 安全性の確保 1. 2. 1 機械的な抵抗力及び安定性の確保 a) 局部荷重に対する台座及び保護カバーの剛性			
(3) 試験の目的		局部荷重に対する台座の剛性を調べる。			
(4) 試験体		種別レベル	台座	個数	1
(5) 試験 方法	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	荷重板、載荷板、おもり			
	(5-2) 試験体の前処 理方法・条件	申請企業の施工仕様書に基づき、施工した可変式洗濯機設置台を用いる。			
	(5-3) 試験方法の 詳細	図1に示すように、可変式洗濯機設置台を合板の上に設置し、台座に防振パットを置く。その上に直径 30 mmの荷重板を置く。さらに、十分な剛性を有する載荷板をのせ、載荷板を介して 1, 960N（荷重板、載荷板の質量を含む）の荷重を 3 分間かけ、異常の有無を調べる。この場合、載荷板の中央に集中荷重をかけるか、又は左右均等に分布荷重をかける。なお、荷重点の裏側にリブがある場合は、リブ中央部に荷重を加える。 図 1			
(6) 試験結果の表示		白化、ひび割れ等の異常の有無			
(7) 要求性能		白化、ひび割れ等の異常のないこと。			
(8) 注意事項					

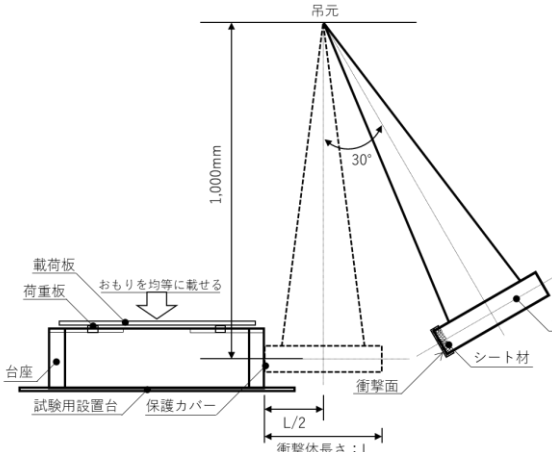
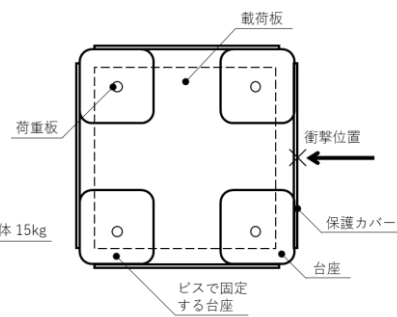
優良住宅部品性能試験方法書（洗濯機用サイホン排出管（可変式洗濯機設置台））

(1) 試験方法名称		局部荷重試験（保護カバー）	試験番号	BLFT SD/A-02
(2) 関連要求項目 および性能		1.2 安全性の確保 1.2.1 機械的な抵抗力及び安定性の確保 a) 局部荷重に対する台座及び保護カバーの剛性		
(3) 試験の目的		局部荷重に対する保護カバーの剛性を調べる。		
(4) 試験体		種別レベル	保護カバー	個数 1
(5) 試験 方法	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	荷重板、載荷板、おもり		
	(5-2) 試験体の前処 理方法・条件	申請企業の施工仕様書に基づき、施工した可変式洗濯機設置台を用いる。		
	(5-3) 試験方法の 詳細	図1に示すように、保護カバーの中央部に幅100mmに厚さ約5mmのゴム板をはった荷重板を介して、784N（荷重板の質量を含む）の荷重を3分間かけ、異常の有無を調べる。  図1		
(6) 試験結果の表示		白化、ひび割れ等の異常の有無		
(7) 要求性能		白化、ひび割れ等の異常のないこと。		
(8) 注意事項				

優良住宅部品性能試験方法書（洗濯機用サイホン排出管（可変式洗濯機設置台））

(1) 試験方法名称		耐衝撃性試験（台座）		試験番号	BLFT SD/A-03
(2) 関連要求項目 および性能		1.2 安全性の確保 1.2.1 機械的な抵抗力及び安定性の確保 b) 耐衝撃性に対する台座及び保護カバーの剛性			
(3) 試験の目的		衝撃荷重に対する剛性を調べる。			
(4) 試験体		種別レベル	可変式洗濯機設置台	個数	1
(5) 試験 方法	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	JIS A 1408:2017「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」5.2.1 b) の表 5ーおもりの区分に規定される W1-1000（質量 1 kg）なす形おもり			
	(5-2) 試験体の前処 理方法・条件	申請企業の施工仕様書に基づき、施工した防水パンを用いる。			
	(5-3) 試験方法の 詳細	質量 1 kg のなす形おもりを 1m の高さから台座上面に落下させ、試験体の 破損の状態を目視により観察する。 なお、衝撃荷重点の裏側にリブがある場合は、リブ中央部に衝撃荷重を加える。			
(6) 試験結果の表示		破損の状態			
(7) 要求性能		異常のないこと。（おもりによる痕跡を除く）			
(8) 注意事項					

優良住宅部品性能試験方法書（洗濯機用サイホン排出管（可変式洗濯機設置台））

(1) 試験方法名称		耐衝撃性試験（台座及び保護カバー）		試験番号		BLFT SD/A-04	
(2) 関連要求項目 および性能		1.2 安全性の確保 1.2.1 機械的な抵抗力及び安定性の確保 b) 衝撃力に対する台座および保護カバーの剛性					
(3) 試験の目的		衝撃力に対する台座及び保護カバーの剛性を調べる。					
(4) 試験体		種別レベル	可変式洗濯機設置台			個数	1
(5) 試験 方法	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	・ 衝撃体（鉄製、衝撃面のサイズ：79 mm×79 mm 質量：15 kg） ・ シート材（無架橋高発泡ポリエチレンシート 厚さ：1 mmのものを2枚重ねる） ・ 荷重板（直径30 mm、先端に厚さ5 mmのゴム板を貼ったもの）、載荷板、おもり（積載用） ・ 試験用設置台（合板等）					
	(5-2) 試験体の前処 理方法・条件	・ 申請企業の施工仕様書に基づき、可変式洗濯機設置台を最大幅にして、台座1か所（衝撃位置の反対側）をビスで固定し、試験用設置台に施工する。					
	(5-3) 試験方法の 詳細	(1) 可変式洗濯機設置台に洗濯機が置かれている状況を想定し、台座上部に荷重板と十分な剛性を有する載荷板を介し、おもりを用いて均等に25 kg（荷重板、載荷板の質量を含む）載荷する。なお、衝撃体で衝撃を加える時に載荷板の縁が保護カバーに当たらないよう、荷重板により高さを調整し、荷重板と載荷板は固定する。 (2) 吊元の位置は衝撃体長さをLとし、保護カバーの鉛直面よりL/2の位置とし、衝撃体を吊元から衝撃体の重心までの高さが1,000mmになるようにひもで吊す。なお、衝撃体の衝撃面は、衝撃体の角が保護カバーに当たらないよう、シート材を二重にして保護する。 (3) 図1のように、衝撃体の重心位置の角度が30°になるまで持ち上げた後、振り子運動により図2に示す保護カバーの中央部の衝撃位置に衝撃を加え、これを5回繰り返す。なお、衝撃により台座が移動した場合は、元の位置に戻して試験を行う。  図1（側面図）  図2（平面図）					
(6) 試験結果の表示		変形、ひび割れ、破損の状態					
(7) 要求性能		使用上支障のあるような変形、ひび割れ、破損のないこと。（衝撃体による痕跡を除く）					
(8) 注意事項							

優良住宅部品性能試験方法書（洗濯機用サイホン排出管（可変式洗濯機設置台））

(1) 試験方法名称		吸水率試験		試験番号	BLFT SD/A-05
(2) 関連要求項目 および性能		1. 2 耐久性の確保 a) 吸水率			
(3) 試験の目的		吸水による材質の重量変化を調べる。			
(4) 試験体		種別レベル	50 mm×50 mm（厚みは原厚） 試験片の切断面は、クラックがなく滑らかに仕上げる。試験片は台座より採取したもので、リブは取り除いた物とする。もしくは同一条件にて製作したものとする。	個数	3
(5) 試験方法	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	化学天びん(感度 0.1 mg)、恒温槽、恒温水槽、デシケーター			
	(5-2) 試験体の前処理方法・条件	試験前 24 時間以上標準状態（温度 23±2℃、湿度 50±5%）に静置する。			
	(5-3) 試験方法の詳細	(1) 50±2℃に保った恒温槽中で試験片を 24±1 時間乾燥処理を行なう。この場合試験片は、厚さ約 10 mmのフレキシブル板の上に置かれたろ紙の上に置く。その後、試験片をデシケーター中で 20±10℃まで冷却し、その質量を 0.1 mg単位まで正確に量る。 (2) 23±2℃の蒸留水を入れた吸水用容器中に 24±1 時間浸せきしてから取り出し、乾燥した清浄なガーゼなどでふき、表面のちりを羽毛又は毛筆で払い、1 分以内に、はかりびんに入れて吸水後の質量を 0.1 mg単位まで正確に量る。この場合、浸せき中に試験片が互いに接触しないように注意する。 (3) 吸水率は、次の式によって 3 個の試験片について求めた値の平均値で表す。 $A = (W_2 - W_1) / W_1 \times 100$ A：吸水率（%） W ₁ ：吸水前の試験片の質量（mg） W ₂ ：吸水後の試験片の質量（mg）			
(6) 試験結果の表示		吸水率（%）			
(7) 要求性能		3 個の吸水率の平均値が 0.5%以下であること。			
(8) 注意事項		JIS K 7209:2000[プラスチックの吸水率及び沸騰水吸水率試験方法]			

優良住宅部品性能試験方法書（洗濯機用サイホン排出管（可変式洗濯機設置台））

(1) 試験方法名称		耐酸性試験		試験番号	BLFT SD/A-06
(2) 関連要求項目 および性能		1.3 耐久性の確保 b) 耐酸性			
(3) 試験の目的		酸に対する耐久性を調べる。			
(4) 試験体		種別レベル	50 mm×50 mm 試験片は台座より採取したもの	個数	3
(5) 試験 方法	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	濃度 3% (質量分率) の塩酸			
	(5-2) 試験体の前処 理方法・条件	試験前 24 時間以上標準状態（温度 23±2℃、湿度 50±5%）に静置する。			
	(5-3) 試験方法の 詳細	濃度 3%（質量分率）の塩酸 1mL を試験片表面に滴下し、1 時間後に表面にひび割れ、ふくれ及び変色の有無を調べる。			
(6) 試験結果の表示		試験片表面の異常の有無			
(7) 要求性能		表面にひび割れ、ふくれ及び著しい変色のないこと。			
(8) 注意事項					

優良住宅部品性能試験方法書（洗濯機用サイホン排出管（可変式洗濯機設置台））

(1) 試験方法名称		耐アルカリ性試験		試験番号	BLFT SD/A-07
(2) 関連要求項目 および性能		1.3 耐久性の確保 c) 耐アルカリ性			
(3) 試験の目的		アルカリに対する耐久性を調べる。			
(4) 試験体		種別レベル	50 mm×50 mm 試験片は台座より採取したもの	個数	3
(5) 試験 方法	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	濃度 5% (質量分率) の水酸化ナトリウム水溶液			
	(5-2) 試験体の前処 理方法・条件	試験前 24 時間以上標準状態（温度 $23 \pm 2^{\circ}\text{C}$ 、湿度 $50 \pm 5\%$ ）に静置する。			
	(5-3) 試験方法の 詳細	濃度 5%（質量分率）の水酸化ナトリウム水溶液 1mL を試験片表面に滴下し、1 時間後に表面にひび割れ、ふくれ及び変色の有無を調べる。			
(6) 試験結果の表示		試験片表面の異常の有無			
(7) 要求性能		表面にひび割れ、ふくれ及び著しい変色のないこと。			
(8) 注意事項					